

平成 29 年度

事業報告書  
決算報告書

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

# 平成29年度 事業報告書

## 1. 産業流通振興事業

- (1) 展示会・見本市の開催は、北海道内外から9件の新規催事を誘致し、全体で127件の催事を開催することができました。  
大展示場の使用日数(使用率)は、平成28年度の298日(83.0%)に対し297日(82.7%)となりました。
- (2) イベントの来場者増や相乗効果を図るため、展示会・イベント開催の相談業務や開催に関する各種申請サポートを行いました。  
また、広報誌「アクセスニュース」を毎月2,000部発行し、利用者やマスコミ、広告代理店などに送付し、利用促進を図りました。
- (3) 産業・流通の振興を目的とした異業種交流会(アクセス交流会)を2回開催し、合わせて約400人の参加がありました。
- (4) 展示会等の主催・共催。(公益目的支出計画)  
平成29年度も、公益性の高いイベントについて実行委員会事務局として参画し、企画から各種調整、実施まで一連の作業を行い、産業振興、市民生活向上に寄与するため、下記のイベントを開催しました。

### ①イベントランド北海道2017

平成29年6月16日(金)～17日(土)

道内で新たなイベントを企画・実施しようとしている企業を対象とし、イベントアトラクション、ソフトを紹介する総合展示会で、セミナーや商談会なども実施。

### ②環境広場さっぽろ2017

平成29年8月4日(金)～8月6日(日)

今年で20回目を迎えたイベントで期間中の来場者は33,028人。大震災以降、地球温暖化問題とともにエネルギー問題が大きくクローズアップされ、省エネと節電が全国的に注目されている背景から「つくろう!学ぼう!続けよう!ECOな街さっぽろ」をメインテーマに環境負荷の少ない暮らし方について積極的に情報発信。

### ③こどものまち ミニさっぽろ2017

平成29年9月30日(土)～10月1日(日)

会場に市役所、消防署などの公共機関から飲食店、銀行、薬局など仮想の街「ミニさっぽろ」を構成し、小学生を対象に就業体験を行うことにより働くことの楽しさや大切さ、世の中の仕組みなどを学ぶことができる職業体験イベントを開催。

### ④いきいき健康・福祉フェア2017

平成29年10月13日(金)～15日(日)

道内外から45の企業・団体・機関が出展し「快適なライフスタイルの提案を」をテーマに健康に関する情報や福祉機器を一堂に展示したほか、健康測定やロボットスーツの実装体験やバリアフリー馬車運行などのコーナーや生活相談コーナー、健康に関するセミナーなども実施。

### ⑤北のアメ横さっぽろ2017

平成29年11月17日(金)～19日(日)

今回は全道から60の企業・団体が600品目をこえる道内各地の農水畜産品や加工品が出品され、商品の認知度を高めるとともに展示販売を行った。3日間の来場者数は、52,000人。

※ 事業内訳（ ）内は昨年度実績

(1) 大展示場使用実績

1. 使用団体数	95団体	(105団体)	
2. 催事数	127件	(129件)	
うち新規催事	9件	(33件)	
3. 使用日数	297日	(298日)	(実際の使用日数)
4. 使用率	82.7%	(83.0%)	(実際の使用日数/開館日数)

(2) 催事分類

ア. 業種別分類	1. 自動車及び自動車用品関係	39件
	2. 建設資材・住宅機器関係	21件
	3. 衣料品関係	12件
	4. 機械関係	12件
	5. 雑貨・日用品関係	7件
	6. 食品・食材関係	6件
	7. 家具・インテリア関係	3件
	8. その他	27件 (総合見本市6)
	計	127件
イ. 来場者分類	招待制	66件
	一般	61件 (無料50、有料11)
	計	127件
ウ. 当財団共催事業	1. イベントランド北海道2017	
	2. 環境広場さっぽろ2017	
	3. こどものまち ミニさっぽろ2017	
	4. いきいき健康・福祉フェア2017	
	5. 北のアメ横さっぽろ2017	

(3) 屋外展示場使用実績

催事数 31催事 (29催事)

(4) 会議室使用実績

使用団体数 72団体 (77団体)  
延使用回数 615回 (729回)

(5) 主な催事の入場者数

1. 北のアメ横さっぽろ2017	(29. 11. 17~11. 19)	52,000人
2. トミカ博 in SAPPORO	(30. 1. 6~ 1. 14)	49,604人
3. 環境広場さっぽろ2017	(29. 8. 4~ 8. 6)	33,028人
4. 北海道モーターサイクルショウ	(30. 3. 10~ 3. 11)	27,000人
5. 北海道技術・ビジネス交流会	(29. 11. 9~11. 10)	20,850人

## 2. 施設管理

当施設は、竣工以来34年が経過しているため計画的に改修工事を行っております。当年度は、大展示場照明改修工事、ロードヒーティング改修工事、ガス遮断弁装置改修工事、真空温水ヒーター改修工事、屋上防水補修工事、館内塗装工事、大展示場外調機改修工事、非常用照明改修工事等を行いました。

### 3. 理事会、評議員会の開催

平成29年度 第1回理事会

(平成29年6月8日 場所 ニューオータニイン札幌)

- 議題1 平成28年度 事業報告及び決算報告案について
- 議題2 任期満了に伴う理事、監事及び評議員の選任について
- 議題3 評議員会の開催について

平成29年度 第1回評議員会

(平成29年6月26日 場所 ニューオータニイン札幌)

- 議題1 平成28年度 事業報告及び決算報告案について
- 議題2 任期満了に伴う理事、監事及び評議員の選任について

理事会

(平成29年10月25日 書面決議)

- 議題1 評議員会の開催について
- 議題2 理事の選任について

評議員会

(平成29年10月31日 書面決議)

- 議題1 理事の選任について

理事会

(平成29年11月1日 書面決議)

- 議題1 専務理事の選任について

平成29年度 第2回理事会

(平成30年3月20日 場所 ニューオータニイン札幌)

- 議題1 平成30年度 事業計画及び収支予算案について

### 4. その他

平成29年6月27日 北海道へ平成28年度事業報告及び決算報告書、公益目的支出計画実施報告書提出

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

平成29年度 決算報告書

# 貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日 現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	60,579,118	62,762,721	△ 2,183,603
未収金	4,083,754	5,603,720	△ 1,519,966
流動資産合計	64,662,872	68,366,441	△ 3,703,569
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	35,119,836	32,977,296	2,142,540
修繕引当資産	535,987,100	518,157,100	17,830,000
受入敷金引当資産	10,011,600	10,011,600	0
特定資産合計	581,118,536	561,145,996	19,972,540
(3) その他固定資産			
建物	766,220,315	776,255,041	△ 10,034,726
構築物	16,403,399	13,482,918	2,920,481
什器備品	2,428,991	1,291,607	1,137,384
電話加入権	685,200	685,200	0
その他固定資産合計	785,737,905	791,714,766	△ 5,976,861
固定資産合計	1,416,856,441	1,402,860,762	13,995,679
資産合計	1,481,519,313	1,471,227,203	10,292,110
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,600,398	26,133,474	△ 9,533,076
前受金	14,983,770	10,350,570	4,633,200
預り金	304,448	363,909	△ 59,461
流動負債合計	31,888,616	36,847,953	△ 4,959,337
2. 固定負債			
退職給付引当金	35,119,836	32,977,296	2,142,540
受入敷金	10,011,600	10,011,600	0
固定負債合計	45,131,436	42,988,896	2,142,540
負債合計	77,020,052	79,836,849	△ 2,816,797
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 50,000,000 )	( 50,000,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 535,987,100 )	( 518,157,100 )	( 17,830,000 )
正味財産合計	1,404,499,261	1,391,390,354	13,108,907
負債及び正味財産合計	1,481,519,313	1,471,227,203	10,292,110

正味財産増減計算書  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	15,000	19,518	△ 4,518
事業収益	240,616,070	250,325,040	△ 9,708,970
受取負担金	15,019,332	15,530,861	△ 511,529
雑収益	304,127	370,618	△ 66,491
経常収益計	255,954,529	266,246,037	△ 10,291,508
(2) 経常費用			
人件費	62,499,535	63,674,378	△ 1,174,843
管理費	180,346,087	185,097,786	△ 4,751,699
経常費用計	242,845,622	248,772,164	△ 5,926,542
当期経常増減額	13,108,907	17,473,873	△ 4,364,966
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	13,108,907	17,473,873	△ 4,364,966
当期一般正味財産増減額	13,108,907	17,473,873	△ 4,364,966
一般正味財産期首残高	1,341,390,354	1,323,916,481	17,473,873
一般正味財産期末残高	1,354,499,261	1,341,390,354	13,108,907
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,404,499,261	1,391,390,354	13,108,907

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・・・・・・償却原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、構築物及び什器備品・・・定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金・・・・・・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜き方法によっている。

### 2. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
定期預金	40,000,000	0	0	40,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	32,977,296	2,142,540	0	35,119,836
修繕引当資産	518,157,100	48,000,000	30,170,000	535,987,100
受入敷金引当資産	10,011,600	0	0	10,011,600
小 計	561,145,996	50,142,540	30,170,000	581,118,536
その他固定資産				
建物	776,255,041	23,500,000	33,534,726	766,220,315
構築物	13,482,918	4,950,000	2,029,519	16,403,399
什器備品	1,291,607	1,720,000	582,616	2,428,991
電話加入権	685,200	0	0	685,200
小 計	791,714,766	30,170,000	36,146,861	785,737,905
合 計	1,402,860,762	80,312,540	66,316,861	1,416,856,441



3. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の財源等の内訳

基本財産、特定資産及びその他固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債から の充当額)
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0	0
定期預金	40,000,000	40,000,000	0	0
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	35,119,836	0	0	35,119,836
修繕引当資産	535,987,100	0	535,987,100	0
受入敷金引当資産	10,011,600	0	0	10,011,600
小 計	581,118,536	0	535,987,100	45,131,436
その他固定資産				
建物	766,220,315	0	766,220,315	0
構築物	16,403,399	0	16,403,399	0
什器備品	2,428,991	0	2,428,991	0
電話加入権	685,200	0	685,200	0
小 計	785,737,905	0	785,737,905	0
合 計	1,416,856,441	50,000,000	1,321,725,005	45,131,436

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	3,376,693,515	2,610,473,200	766,220,315
構築物	283,175,269	266,771,870	16,403,399
什器備品	73,373,500	70,944,509	2,428,991
合 計	3,733,242,284	2,948,189,579	785,052,705

## 附属明細書

退職給付引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	32,977,296	2,142,540	0	35,119,836

# 財 産 目 録

(平成30年3月31日 現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	(1)現金	手元保管	運転資金として	38,645
	(2)普通預金		運転資金として	60,540,473
	未収金			4,083,754
流動資産合計				64,662,872
(固定資産) 基本財産	定期預金		基本金として	40,000,000
	投資有価証券		基本金として	10,000,000
基本財産合計				50,000,000
特定資産	退職給付引当資産		職員退職金として積立	35,119,836
	修繕引当資産		修繕引当資産として	535,987,100
	受入敷金引当資産		テナント敷金	10,011,600
特定資産合計				581,118,536
その他固定資産	建物	アクセスサッポロ	施設賃貸事業に使用している。	766,220,315
	構築物	屋外構築物ほか	施設賃貸事業に使用している。	16,403,399
	什器備品	貸出用備品ほか	施設賃貸事業に使用している。	2,428,991
	電話加入権	電話加入権 9 本	館内使用電話加入権	685,200
その他固定資産合計				785,737,905
固定資産合計				1,416,856,441
資産合計				1,481,519,313
(流動負債)	未払金			16,600,398
	前受金	展示場事業収入等	4月大展示場使用前納分使用料等	14,983,770
	預り金	職員に対するもの	源泉所得税、社会保険料等の預り金	304,448
流動負債合計				31,888,616
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの	35,119,836
	受入敷金	白石観光	テナント敷金	10,011,600
固定負債合計				45,131,436
負債合計				77,020,052
正味財産				1,404,499,261